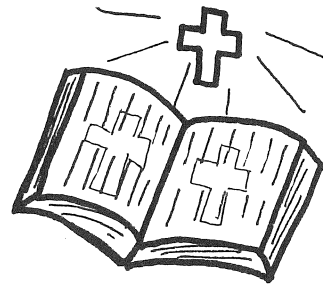


せいしよ した
聖書に親しむ 《だい 2 テモテ 3 章 10～17 節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① せいしよ について、きょう ことば かい 聖書について、今日のみ言葉をおぼえながら書いてみよう！



だい 2 テモテ 3 章 16 節

- ③ せいしよ どのような しよもつ 聖書はどのような書物ですか？

あいている ことば 言葉を からえらんで、かんせいさせましょう！

- ★ かみさま 神様の【 】が書かれています。
 ★ 【 】についてのあか 証しです。
 ★ こころ 心の【 】です。

きさま
 イエス様
 ごはん
 ことば
 み言葉

- ② せいしよ なんかん 聖書は何巻からできていますか？ すうじ 数字をいれてね。

○ ○ かん 巻

2. かんがえよう！

- ① あなたはせいしよ よ す 聖書を読むことが好きですか？ 【 はい / いいえ 】

- ② どんなとき せいしよ よ 聖書を読みますか？ どんなとき せいしよ よ 聖書を読めそうかな？

【 】

- ③ あなたのこころ のこ に残っているみ言葉は何か？

【 】

《 おいの 祈りしよう！ 》

てん 天のおとうさま。せいしよ あた 聖書を与えてくださってありがとうございます。ことば わたし こころ み言葉は私の心のごはん
 です。せいしよ よ かみさま ことば おも だ 聖書を読んで、いつでも神様のみ言葉を思い出すことができるように助けてください。
 さま いの イエス様のおなまえによって、お祈りします。アーメン。

いの せいかつ 祈りの生活 《エペソ 6章10～20節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

① 右と左の言葉を線で結び、「神の武具」を完成させましょう！

しん り 真 理 の	●	●	そな 備え
せい ぎ 正 義 の	●	●	たて 盾
へいわ ふくいん 平和の福音の	●	●	つるぎ かみ ことば 剣 (神の言葉)
しん こう 信 仰 の	●	●	おび 帯
すく いく 救 い の	●	●	むねあ 胸当て
み たま 御 霊 の	●	●	かぶと



② 悪魔の作戦に勝利するために、忘れていけないものは何ですか？ 文字をうめてね。

み た ま
御霊による ○ ○ ○

③ 自分のことだけでなく、だれのために祈ることも大切でしょう？
今日のみ言葉をおぼえながら書いてみよう！

エペソ 6章18節



2. かんがえよう！

① お祈りすることは楽しいですか？ 【 はい / いいえ 】

② 今まで、どんなお祈りをしましたか？ また、祈ったことはどうになりましたか？

【

② 牧師、伝道師、宣教師、教会学校の先生の名前を書きましょう。

そして、先生方のためにお祈りしましょう。

【

《 お祈りしよう！ 》

天のおとうさま。いつでもお祈りできることをありがとうございます。悪魔の作戦に負けないよう、私に神の武具をください。イエス様のおなまえによって、お祈りします。アーメン。

しゅうかいしゅっせき

集会出席

《ヘブル 10章 19～25節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① 神様といっしょに歩むために、大切なことはなんでしょう？

あいている言葉を□からえらんで、かんせいさせましょう！

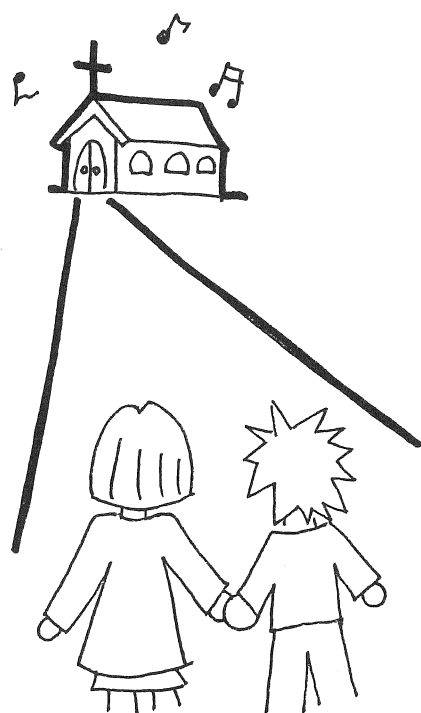
- ★ 【 】を読むこと。
 ★ 【 】すること。
 ★ 教会の【 】に集まること。

いの
お祈り
しゅうかい
集会
せいしょ
聖書

- ② 「教会に行くの、イヤだな」と思ったとき、今日のみ言葉を思い出しましょう！

おぼえながら書いてみましょう！

ヘブル 10章 25節



- ② 教会の集会で大切なことは何でしょう？ ○をつけてね。
- | | |
|-------------|---------------|
| ◆ 神様のみ言葉をきく | ◆ 友だちの悪口を言う |
| ◆ 神様を賛美する | ◆ 力をあわせて助け合う |
| ◆ けんかする | ◆ 心を合わせてお祈りする |

2. かんがえよう！

- ① 私たちは神様に近づくことができますか？ 【 はい / いいえ 】

- ② それはだれのおかげかな？ 【 】

《 お祈りしよう！ 》

天のおとうさま。イエス様の十字架の血によって、私も神様に近づけること、み言葉をきけること、お祈りできることをありがとうございます。これからも教会の集会に出られるように助けてください。イエス様のおなまえによって、お祈りします。アーメン。

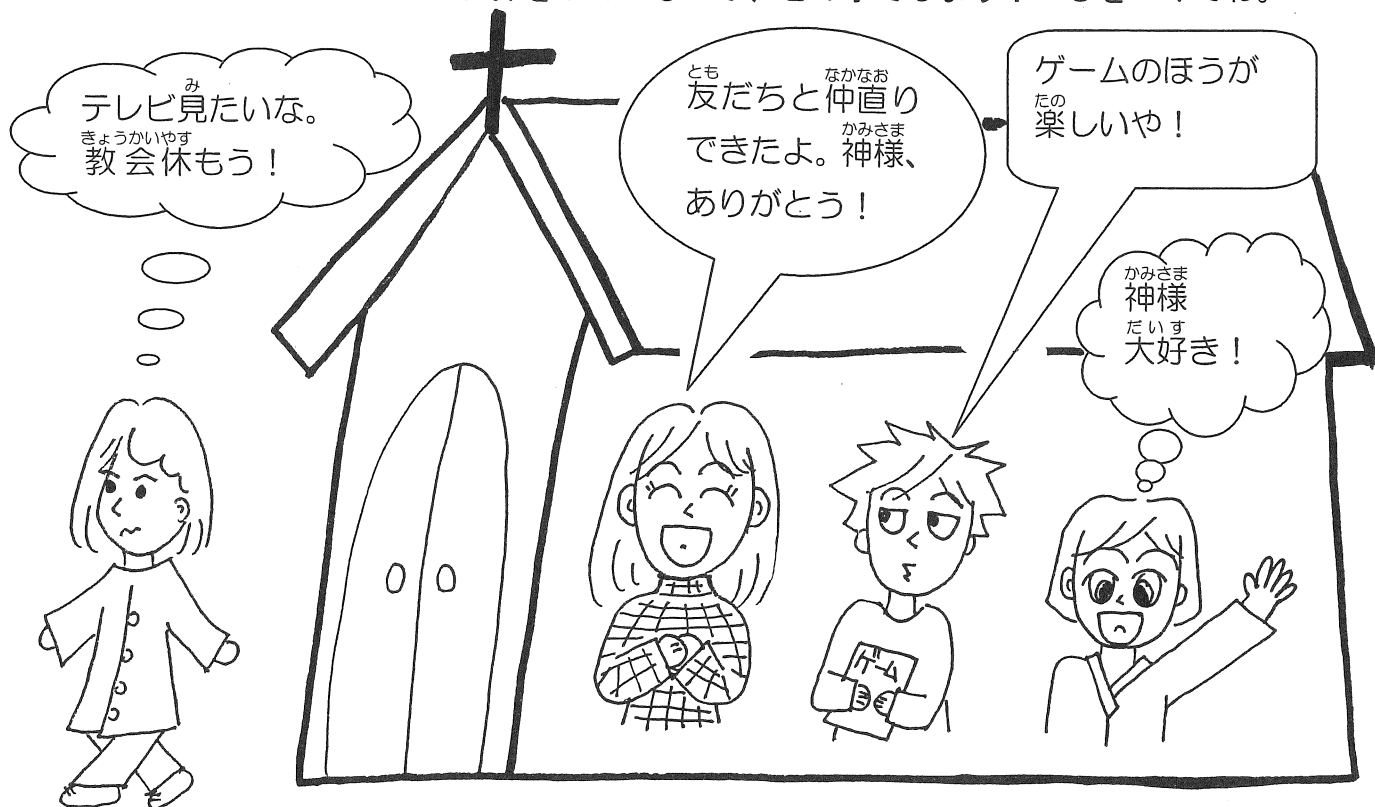
よろこ れいはい
喜びの礼拝 《ローマ 12章 1～2節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① 私たちがするべき礼拝とはどのようなものでしょう？
 今日のみ言葉をおぼえながら書いてみよう！

ローマ 12章 1節

- ② からだも心もささげて礼拝をしているのは、どの子でしょう？ ○をつけてね。



2. かんがえよう！

- ① 神様を礼拝するのは、日曜日だけですか？ 【 はい / いいえ 】
- ② あなたが神様を礼拝できるのはいつかな？ 【 朝 / 昼 / 夜 】

《 お祈りしよう！ 》

天のおとうさま。イエス様の十字架の血によって、私も神様を礼拝できることをありがとうございます。神様の喜ばれることをたくさん知って、行えるように、中うわくに勝つことができるように助けてください。イエス様のおなまえによって、お祈りします。アーメン。

あい まじ 愛の交わり 《ローマ 12章 3～21節》

1. つぎのしつもんにとたえよう。

- ① 神様がひとりひとりに与えてくださったものは、何かな？ 文字をうめてね。

た ○ ○ の

- ② 神様が喜ばれることに○をつけてね。

★ イエス様を信じる

★ 聖書を読む

★ けんかする

★ うそをつかない

★ 人をほめる

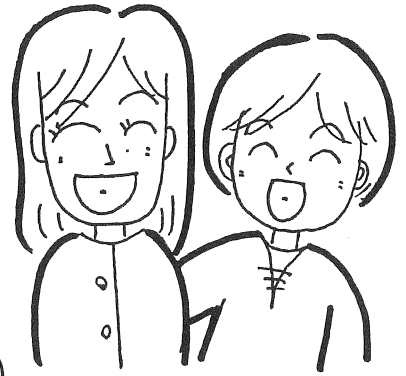
★ お祈りする

★ いじめる

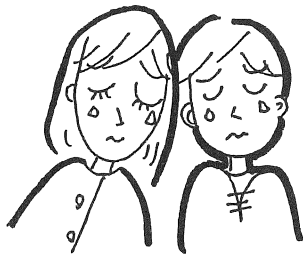
★ 仲良くする

★ じまんしない

★ しかえしをする



- ③ その他に、神様が喜ばれることはなんでしょう？
今日のみ言葉をおぼえながら書いてみよう！



ローマ 12章 15節

2. かんがえよう！

- ① あなたの賜物は何かな？ 得意なことは何だろう？

【

】

- ② あなたは、神様が喜ばれることをしているかな？ 【 はい / いいえ 】

- ③ 神様が喜ばれないことをしたことはありますか？ 【 はい / いいえ 】

- ④ 神様が喜ばれないことをしてしまったとき、あなたは どうしますか？

【

】

《 お祈りしよう！ 》

天のおとうさま。神様が喜ばれないことをしてごめんなさい。イエス様の十字架は私のためだと信じます。こんな私にも賜物を与えてくださってありがとうございます。神様のために使うことができるように助けてください。イエス様のおなまえによって、お祈ります。アーメン。

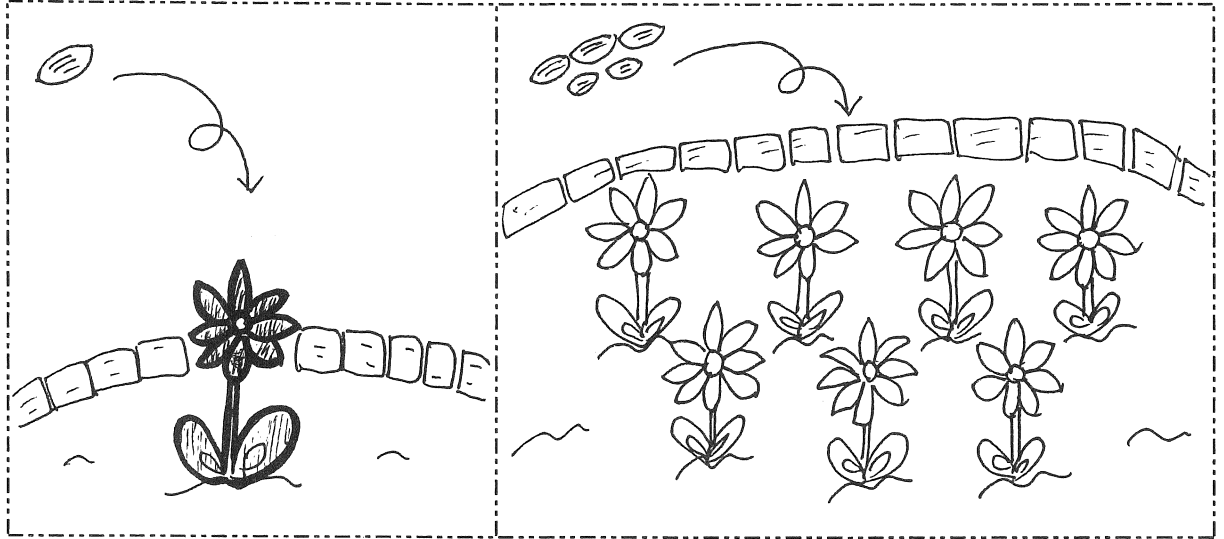
けんきん よろこ

献金の喜び

《第2コリント 9章6～15節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① 1粒の種からは、ひとつの花しかさきませんでした。では、5粒の種ではいくつの花がさくでしょう？ 右側の花だんに、さいた花の数だけ色をぬりましょう！



- ② 献金する時、神様はどんな人を愛してくださるでしょうか？ ○をつけてね。

- ★ ほめられたくて献金する人
- ★ 喜び、感謝して献金する人
- ★ いやいやながら献金する人

2. かんがえよう！

- ① 私たちはどんなふうに献金をしたらよいのかな？
今日のみ言葉をおぼえながら書いてみよう！

第2コリント 9章7節

- ② 神様は喜んで献金をするあなたに、何をしてくださるのでしょうか？ ○をつけてね。
- ★ 良いもの（恵み）をたくさんくださいます。
 - ★ いらないものを与えてくれます。

《お祈りしよう！》

天のおとうさま。神様の恵みを与えてくださってありがとうございます。これから献金する時は自分で決めて、喜んで、感謝してできますように、また、困っている人がいたら協力することができるように助けてください。イエス様のおなまえによって、お祈りします。アーメン。

でんどう 伝道しよう 《第1コリント 9章15～23節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

① パウロが福音を伝えるのは、どうしてですか？ ○をつけてね。

- ★ 自分で考^{かんが}えて始^{はじ}めたことだから。
- ★ 神様^{かみさま}から任^{まか}されたことだから。
- ★ じま^じんで^できることだから。



② パウロは福音のために、どんなことをしましたか？
今日のみ言葉を^{きょうことば}おぼえながら書いてみよう！

第1コリント 9章23節

③ パウロはどうしてそのようなことをしたのでしょうか？

あいている言葉を□からえらんで、かんせいさせましょう！

すべての人^{ひと}が【 】を信じ、
何人^{なんにん}でも【 】ほしかったから。
【 】も【 】の恵^{めぐ}みを
一^{いっしょ}緒^うに受けたかったから。

イエス様
パウロ
救われて
福音

2. かんがえよう！

① あなたの周^{まわ}りに、イエス様のことを信じていない人^{ひと}はいますか？ なまえを書いてね。

【 】

② イエス様を信じていない人^{ひと}のために、あなたはな^{なに}ができるかな？
例^{たと}えば、お祈^{いの}りをする、教^{きょう}会^{かい}にさそう、み言葉を伝える、など。

【 】

《 お祈りしよう！ 》

天^{てん}のおとうさま。私^{わたし}にも福音を伝えることを任^{まか}せてくださってありがとうございます。イエス様のことを信じていない人^{ひと}のためにお祈りしたり、教^{きょう}会^{かい}にさそったり、み言葉を伝えることができるように助^{たす}けてください。イエス様のおなまえによって、お祈りします。アーメン。

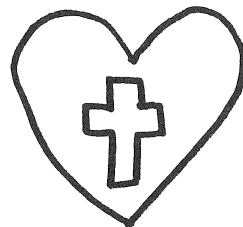
こひつじ　こんえん
小羊の婚宴　もくしろく　しょう　せつ
《黙示録》　19章1～10節

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① イエス^{さま}様の花嫁^{はなよめ}とは、どんな人のことでしょう？ ○をつけてね。

▲ かわいい女^{おんな}の子^こ

▲ イエス^{さま}様^{しん}を^{ひと}信じた人



- ② イエス様の花嫁は、どんなドレスを着ていますか？

あいている^{ことは}言葉を□からえらんで、かんせいさせましょう！

【 】の^ち血で^{あら}洗われた

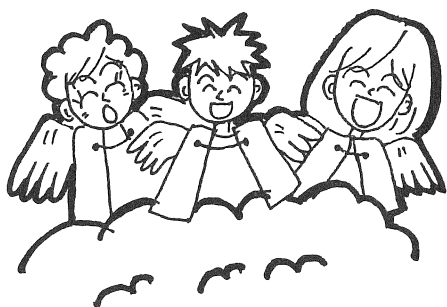
【 】のしみやしわのないドレスです。

イエス様を【
着る】ことのできる【
】きよめられた人だけが
【
】なドレスです。

イエス様
きれい
信じて
罪

- ③ イエス様の結婚式は、どんなふうにお祝いされますか？

きょう　ことば　か
今日のみ言葉をおぼえながら書いてみよう！



もくしろく
黙示録 19^{しょう}章 7^{せつ}節

2. かんがえよう！

- ① あなたはイエス様を信じていますか？ 【 信じている / 信じてない 】

- ② あなたは神様に罪を告白して、ゆるしていただきましたか？

【 はい / いいえ 】

- ③ 「いいえ」と答えた人でも、今、イエス様を救い主と信じるなら、あなたもイエス様の花嫁になる準備ができます。素直に罪を告白し、神様のもとに帰りましょう。

【

《 お祈りしよう！ 》

天のおとうさま。イエス様の十字架の血によって、私の罪をきよめてくださることを信じます。イエス様がいつ来られてもよいように、イエス様を信じつづけ、花嫁のきれいなドレスを着ることができるようになってください。イエス様のおなまえによって、お祈りします。アーメン。

あくま さいご 悪魔の最後

《黙示録 20章 1～15節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① 悪魔（サタン）は何をしますか？

あいている言葉を□からえらんで、かんせいさせましょう！

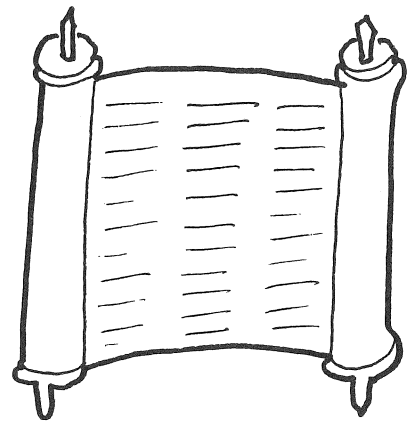
- ▲ 【 】に反抗している。
- ▲ 【 】を犯すように誘惑する。
- ▲ 【 】の道連れを作ろうとする。



- ② 神様のさばきの時、悪魔はどうなりますか？

今日のみ言葉をおぼえながら書いてみよう！

黙示録 20章 10節



- ③ 「いのちの書」に名前のある人、永遠の滅びに入れられることはありませんでした。

それはどうしてでしょう？ ○をつけてね。

- ★ たくさんのお金をはらったから。
- ★ よいことをたくさんしたから。
- ★ 「イエス様の十字架は私の罪のためです」と信じていたから。

2. かんがえよう！

- ① 悪魔を滅ぼすのはだれでしょう？ 【 強い人 / 自分 / 神様 】
- ② 悪魔に勝った人はだれでしょう？ 【 強い人 / 自分 / イエス様 】
- ③ 「いのちの書」にあなたの名前はあるかな？ どうしてそう思うのかな？
- 【 】

《 お祈りしよう！ 》

天のおとうさま。神様が必ず悪魔を滅ぼしてくださるので、安心しました。イエス様を信じるなら、私の名前もいのちの書に書いてもらえることをありがとうございます。この平安を伝えることができるようにしてください。イエス様のおなまえによって、お祈りします。アーメン。

あたら

新しいエルサレム

《黙示録

21章1～9節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① ヨハネは何を見たのでしょうか？ 今日のみ言葉をおぼえながら書いてみよう！

もくしろうく 黙示録 21章1節



- ② 新しい天と新しい地にないものはなんでしょう？ ○をつけてね。

- | | | |
|-------|------|--------|
| ▲ 神様 | ▲ 涙 | ▲ いじめ |
| ▲ 戦争 | ▲ 死 | ▲ なぐさめ |
| ▲ けんか | ▲ 喜び | ▲ 病気 |

- ③ 神様はどんなお方ですか？ あいている言葉を□からえらんで、み言葉をかんせいさせましょう！

わたしはすべてを【 】する。

わたしは【 】であり、

【 】である。かわいている者には

【 】の泉から ぬ かに飲ませよう。

さいしょ
最初
あたら
新しく
みず
いのちの水
さいご
最後

2. かんがえよう！

- ① あなたも新しい天と新しい地に行きたいですか？ 【 はい / いいえ 】

- ② では、どうしたら行けるのでしょうか？ ○をつけてね。

- ★ 早く行きたいから自殺する。
- ★ 罪を告白して、イエス様を信じる。
- ★ つらくても、イエス様の迎えを信じて待つ。

《 お祈りしよう！ 》

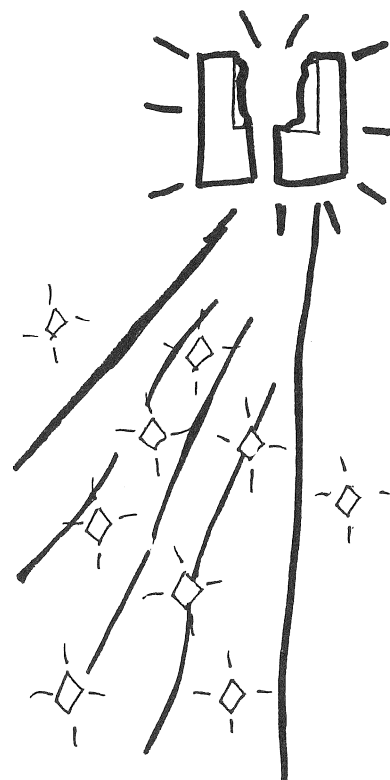
天のおとうさま。今は泣きたいことがたくさんあります。でも、新しい天と新しい地があり、いのちの水が与えられることをありがとうございます。どんなことがあっても、イエス様を信じて生きることができますように。イエス様のおなまえによって、お祈りします。アーメン。

かみ **神** の **都** みやこ

《^{もくしろく}黙示録 22^{しょう}章 1～7^{せつ}節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① み^{つか}使いはヨハネに^{なに}何を見^みせてくれましたか？
 今^{きょう}日のみ^{ことば}言^{こと}葉をお^おぼえなが^から書^かいてみよう！



- ② ^{かみ}神の^{みやこ}都の^{ちゅうしん}中心には、だれとだれがおられますか？

【 】 と 【 】

- ③ イエス様はヨハネに、何と言われましたか？ あいている言葉を□からえらんで、み言葉をかんせいさせましょう！

見よ。わたしは【 】来る。

この書の【 】の言葉を

かた
堅く【 】もの
者は

【 】です。

よげん
預言
まも
守る
すぐに
さいわい

2. かんがえよう！

- ① ^{かみ}神の^{みやこ}都のことは^{ほんとう}本当でしょうか？ 【 ^{ほんとう}本当 / ^{つく}作り^{ばなし}話 】

- ② いつイエス様が来られてもよいように、あなたは準備ができていますか？

【 はい / いいえ 】

- ③ 神の都に一緒にいきたい人はいますか？ その人のために何が出来るかな？

【 】

《 お祈りしよう！ 》

天のおとうさま。み言葉のとおり、神の都が本当にあることを信じます。イエス様を信じるだけで、私も神の都に住めることをありがとうございます。このことを家族や友だちも信じることができるように助けてください。イエス様のおなまえによって、お祈りします。アーメン。

ワーク B 解説 1~3月

1/7

- 質問1 主・聖なる者・創造者・王なる神様が、イスラエルの民に新しいことをなすと約束してくださいました。その言葉どおり、真実な神様が約束されたことは成就しました。
- 質問2 神様はイエス様を通して、私たちにも新しいこと、^{あがな}贖いをなしてくださいました。新しい年、神様の助けをいただいて、様々なことに挑戦しましょう。また、イエス様のことを信じていない人たちに、この救いの業を伝えることができるようにと祈りましょう。

1/14

- 質問1 聖書がどのような書物であるのかを考えながら、暗唱聖句を書きましょう。聖書には66の書巻が納められており、神様のみ言葉、イエス様についての証^{あかし}が書かれています。また、聖書は人間が生きるうえでとても大切な心のごはんです。
- 質問2 読書が苦手な子どももいるでしょう。しかし、神様の愛や聖書のすばらしさ、また、聖書が神様からのラブレターであることが分かるとき、聖書を読むことが楽しくなります。どんな時に聖書を読めそうか、心に残っているみ言葉は何かなど、共に分かち合いましょう。

1/21

- 質問1 悪魔の策略に打ち勝つために、神様は私たちに神の武具を与えてくださいました。一つ一つをしっかりと受けとり、御霊によって祈り、神の武具を用いて主にある勝利を勝ちとりましょう。祈るとき、自分のためだけではなく、すべての聖徒のためにも祈りましょう。
- 質問2 祈ることが難しい、恥ずかしいと感じている子どももいるかもしれません。神様がいつでも、どんな時でも聞いていてくださり、ありのままを神様にお話できる幸いを知りましょう。何よりも、祈りによって生きておられる神様を体験できたら、祈ることがもっと楽しくなります。子どもと祈祷課題を交換し、共に祈り合いましょう。

1/28

- 質問1 今月学んできたように、神様と共に歩むためには、聖書を読んで神様のみ言葉を聴くこと、祈って神様と交わること、教会の集会に出席し、聖徒と交わることが大切です。教会の集会では神様のみ言葉を聴き、神様を賛美し、心を合わせて祈りあいましょう。また、主にある愛の交わりをし、共に慰め合い、励ましあい、助け合いましょう。
- 質問2 人間は罪のゆえに神様に近づくことができませんでした。しかし、イエス様の十字架の血によって、信じる者はだれでも神様に近づくことができるようになりました。この恵みを感謝しつつ、教会の集会に出席しましょう。

2/4

●質問1 イエス様は私たちのために、その身をささげて十字架にかかり死んでくださいました。そのことを信じ、感謝し、救われた喜びに満たされつつ教会に集い、神様に喜びの礼拝をささげましょう。

●質問2 私たちはイエス様の十字架の血潮によって、いつでも、どんな時でも、神様に礼拝をささげることができます。また、礼拝を通して、神様との関係も深まります。なんという恵みでしょう。主を礼拝し、日々新たにされ、神様の喜ばれることを知って、行う者とさせていただきましょう。

2/11

●質問1 神様は私たち一人一人に、異なる賜物を与えてくださいました。異なる賜物であるからこそ、お互いが助け合うことによって、主にある愛の交わりが深まり、さらには、主のわざが前進するのです。神様の喜ばれることはなんでしょう。具体的にあげて考えてみましょう。

●質問2 自分に与えられた賜物を一緒に発見し、神様のために用いることができるようにと祈りましょう。また、神様に喜ばれることをしているか、していないかを明確にすることによって、自分の生き方を点検しましょう。もし、神様が喜ばれないことをしているなら、素直に主の前に告白し、神様に喜ばれることを行うことができるようにと祈りましょう。主は必ず造り変えてくださいます。

2/18

●質問1 種まきの問題を通して、豊かにまくことの幸いを実感しましょう。また、もっと種をまけば咲かなかった花にも色を塗ることができると付け加えてもよいでしょう。神様は与えられたもののの中から、喜び、感謝して献金する人を愛してください。

●質問2 献金をする時、私たちはいやいやながらしたり、強いられてするのではなく、祈りながら心で決めたとおりに喜んでしましましょう。神様は喜んで献金する者を愛してくださり、神様の恵みで満ちあふれさせてくださいます。これは真実です。神様に期待しましょう。

2/25

●質問1 パウロが福音を伝えたのは、神様からの使命であり、彼が自分のなすべきことだと受け止めていたからです。苦しいことや辛い^{つら}いこともありましたが、パウロはイエス様の愛に押し出されて、福音のためにどんなことでも行いました。それはすべての人がイエス様を信じ、何人でも救われてほしかったから、また、パウロ自身も福音の恵みにあずかりたかったからです。

●質問2 自分の周りにはイエス様を信じている人だけでなく、信じていない人がたくさんいることも知りましょう。そして、自分は福音宣教のために、その人々のために何ができるのか、具体的に考え、備え、実行できるように祈りましょう。

3/4

- 質問1 神様は真実で正しいお方ですから、さばきも救いのわざも本当に起こります。イエス様を信じる者は、イエス様の花嫁として結婚式に出席することができます。イエス様によってきよめられた花嫁が着ているドレスは、イエス様の十字架の血で洗われた、罪のしみもしわもないとてもきれいなドレスです。結婚式に出席している者たちは喜び楽しみながら、神様に賛美をささげてお祝いします。
- 質問2 イエス様を自分の救い主と信じている子どもは、イエス様の花嫁としての準備を続けるように励ましましょう。まだイエス様を信じておらず、神様に罪を告白して赦^{ゆる}していただいたという経験のない子どもには、悔い改めの時をもって共に祈り、救いのみ言葉をプレゼントし、導きましょう。

3/11

- 質問1 悪魔は神様に反抗し、人間に罪を犯させようと誘惑し、また、永遠の滅びへの道連れを作ろうと働いています。しかし、神様のさばきの時、悪魔と同じくいのちの書に名が記されていない者は、永遠の滅びに投げ入れられます。悪魔もイエス様が神の子であると知っていますが、十字架の贖^{あがな}いは信じていないので人々に疑わせます。いのちの書に名が記されている者たちが滅ばされなかったのは、「イエス様の十字架は、私の罪のためです」と信じていたからです。
- 質問2 私たちは自分で悪魔に勝とうとするのではなく、悪魔に勝利されたイエス様、悪魔を滅ばす神様を畏れ敬い、信じて、お頼りしていきましょう。悪魔のことを恐れたり、いのちの書に名がないと不安に思ったりしている子どもには、み言葉をプレゼントし、導きましょう。

3/18

- 質問1 神様はすべての初めであり、すべてを完成なさるお方です。その神様が新しくされた天と地を、ヨハネは見たのです。そこにはいじめ、けんか、戦争、涙、病気、死などがなく、神様が共に住んでくださり、慰めと喜びが溢^{あふ}れています。
- 質問2 この世には苦しくつらいことがたくさんあり、新天新地の話を聞いて、早く行きたいと考える子どももいるでしょう。しかし、自殺をしてしまっは行くことはできません。罪を告白して、イエス様の十字架の贖^{あがな}いを信じましょう。どんなにつらいことがあっても、イエス様にお頼りし、イエス様のお迎えを信じて待ちましょう。また、信仰者たちは、共に主の日を覚えて祈り、慰め、励まし、支え合い、信仰の闘いを闘いぬきましょう。

3/25

- 質問1 ヨハネは神の都の内部を見せていただきました。その中心には神様とイエス様がおり、神様の光で満ちていました。イエス様はヨハネに、主の来臨はすぐであること、また、預言の言葉を堅く守る者はさいわいであることを告げられました。
- 質問2 神様の言葉は真実で、信ずべきものです。それゆえ、神の都の話は作り話ではなく、本当です。私たちはこのみ言葉を信じ、いつイエス様が来られてもよいように、み言葉に生き、主の来臨に備えましょう。また、このことを信じていない家族や友だちの救いのために、心をあわせて祈りましょう。